

宗教改革500年記念イベント申込書

◎定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込み下さい。

下記申込書をFAXでお送りいただいた上、郵便振替で会費をお振り込みください。

郵便振替

00160-2-18410

口座名:(一財)日本聖書協会

郵便振替用紙の通信欄に、9月18日「講演会」「晩餐会」(または両方)とご明記の上、人数分の会費をお送りください。入金確認の後チケットをお送りします。

代表者のご住所・お電話番号は必ずご記入ください。

人数が4名以上の場合は別紙に上記の事項とともに、全員分の名前をお書きください。



FAX送付先 03-3567-4436

9月18日(月)「記念講演会」申込書

先着順につき、お早めにお申し込み下さい

お名前 <small>※お申し込みの方全員のお名前をお書き下さい。</small>	代表者・フリガナ	フリガナ	フリガナ
ご住所 <small>(チケット送付先。代表者のみで可)</small>	(〒)		○をお付け下さい。 <small>(教会・学校・自宅・団体)</small>
お電話	F A X		
E-mail			

9月18日(月)「エキュメニカル晩餐会」申込書

先着順につき、お早めにお申し込み下さい

お名前 <small>※お申し込みの方全員のお名前をお書き下さい。</small>	代表者・フリガナ	フリガナ	フリガナ
ご住所 <small>(チケット送付先。代表者のみで可)</small>	(〒)		○をお付け下さい。 <small>(教会・学校・自宅・団体)</small>
お電話	F A X		
E-mail			

※スマートフォン・携帯電話で右のQRコードをスキャンしてお申し込みが可能です。Eメールでもお申し込みいただけます。ご記入いただいた個人情報は「個人情報保護法」に基づき当協会が厳重に管理し、目的範囲内で適切に使用いたします。

申込・問合せ用QRコード

日本聖書協会 〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1 (ご連絡は広報担当まで) TEL.03-3567-1988 FAX.03-3567-4436 Eメール:info@bible.or.jp



「COCOAR2」アプリをダウンロードして、このチラシのタイトル文字をスキャンしてみよう。何かが起こります!!



宗教改革500年 記念ウィーク

宗教改革が問いかけるもの



2017年9月12日(火)～9月18日(月)



今年2017年は、マルティン・ルターによって始まった宗教改革から500年の節目の年に当たり、ローマ・カトリック教会とルーテル教会が、初めて共に宗教改革を記念する特別な年でもあります。この記念すべき年に、講演会や晩餐会、展示会を通して、宗教改革が歴史・社会・文化に果たした役割や、宗教改革の今日的意義について、皆様とご一緒に考えたいと思います。

■2017年9月18日(月) 14:30～16:30

記念講演会 有楽町朝日ホール 会費1,000円
講師 ハンス=マルティン・バルト氏 (マールブルク大学名誉教授)

■2017年9月18日(月) 18:00～20:30

エキュメニカル晩餐会 帝国ホテル 光の間2階 会費18,000円(コース料理付)
講師 江口 再起氏 (ルーテル学院大学教授)
音楽ゲスト:演奏 MCSメサイアコーラルソサイエティ合唱団

■2017年9月12日(火)～17日(日) 10:30～18:00

(最終日12:30～17:00)
記念展示会 「宗教改革が文化に及ぼした影響」 銀座教会 東京福音会センター
レクチャー

9月15日(金) 佐川 美智子氏 (元町田市立国際版画美術館 副館長)
9月16日(土) 藤原 一弘氏 (青山学院大学、北海道大学非常勤講師)
9月17日(日) 中西 保仁氏 (印刷博物館学芸員)

宗教改革500年記念行事に、お祈りとご支援どうぞよろしくお願い致します

主催 JBS 日本聖書協会



記念講演会 定員 600名 会費 1,000円

開場：14:00 開会：14:30～16:30

会場：有楽町・朝日ホール 東京都千代田区有楽町2丁目5-1 有楽町マリオン11F

「現代世界における宗教改革の意義」



講師：ハンス＝マルティン・バルト氏

宗教改革は、宗教的にも世俗的にもヨーロッパ史にとって重大な出来事でした。しかし、グローバル化、世界規模のコミュニケーション・システム、深刻な政治的・経済的緊張の中にある現代世界において、宗教改革は意味を持つのでしょうか。また、ルターの聖書観は、キリスト教以外の諸宗教や無神論と対話する上で有効なのでしょうか。宗教改革が残した遺産のうち、現代でもなお意義を持つものとは何でしょうか。マルティン・ルターとの対話は、刺激的で生産的なものとなるでしょう。

プロフィール

1939年ドイツ、エルランゲン生まれ。エルランゲン、ハイデルベルク、ローマで学ぶ。ギーゼン大学宗教学部組織神学教授を経て、1981年からマールブルク大学プロテスタント神学部組織神学・宗教哲学教授（現在は名誉教授）。1997-2009年、福音主義同盟議長（Präsident des Evangelischen Bundes）。主著「教義学 世界宗教の文脈における福音主義信仰（Dogmatik. Evangelischer Glaube im Kontext der Weltreligionen）」「マルティン・ルターの神学（Die Theologie Martin Luthers）」の他、多数の著書、論文がある。

エキュメニカル晩餐会 定員 150名 会費 18,000円

開場：17:30 開会：18:00～20:30

会場：帝国ホテル 光の間 本館中2階 東京都千代田区内幸町1-1-1

「贈与の神学者ルター」 講師：江口 再起氏



宗教改革500年は、ルターについて、そしてプロテスタンティズムについて、またキリスト教について、さらには宗教改革より始まった近代世界全体について考える必要があります。それも昔の出来事を記念するのではなく、むしろどのような未来を切り開いていけるのかという視点が大事です。その際、ルターの何が真実の遺産でしょうか。「恵みのみ（Sola gratia）」こそがルターの思想の根幹ですが、このことを「贈与」という観点から考えてみます。

プロフィール

1947年佐賀県生まれ。獨協大学卒。日本ルーテル神学大学（現ルーテル学院大学）・神学校卒。ドイツエルランゲン大学に留学。東京女子大学教授を経て、ルーテル学院大学教授。日本福音ルーテル教会教師。日本ルーテル学会理事長、ルーテル学院大学ルター研究所所員、日本福音ルーテル教会エキュメニズム委員会委員。著書『神の仮面—ルターと現代世界』、共著『ルターを学ぶ人のために』の他、多数の論文、共著、共訳がある。

音楽ゲスト：MCS メサイアコーラルソサイエティ合唱団

「天使の糧」（セザール・フランク）、「アーメンコーラス」（ヘンデル・メサイアから）など

2008年以来、メサイアの公演を続け、演奏活動の他、録音録画、研究教育、出版、メサイアスタディツアーなど、あらゆる方法でメサイアの素晴らしさを伝えている。代表は小田彰氏。



指揮者 小田 彰



ピアノ 片野 敦子



ソプラノ 細谷 由香



アルト 古市 尚子



テノール 辻瑞 幹彦



バス 榎橋 亘



ソプラノ 生駒 圭子



アルト 佐藤 祥



テノール 佐藤 敦史



バス 生駒 文昭

小田 彰 ライトハウス田園調布チャペル 牧師。ライトハウス代表。牧師として伝道の傍ら、広く音楽活動によって希望のメッセージを伝えている。日本の教会音楽の草分け中田羽後に、英国留学中にロイヤルアカデミーのノエル・トレディニクに師事。

記念展示会 と レクチャー

開場：10:30～18:00（最終日：12:30～17:00）

会場：銀座教会 東京福音会センター 東京都中央区銀座4丁目2-1 地下鉄銀座駅 C6, C8出口

「宗教改革が文化に及ぼした影響」

入場無料



展示 ルター訳聖書

『新約聖書』(9月聖書)1522年(復刻版)
『聖書』1534年(復刻版)
『聖書』1545年(復刻版)
『聖書』1720年
『聖書』2017年記念版、ルター関連書籍他



レクチャー

宗教改革時代の美術

9月15日(金)
14:00～15:30

15世紀末から16世紀前半の時代、美術の制作に携わった人々にも大きな変革が訪れていました。このレクチャーでは主にアルプスの北の地方で活躍し歴史に大きな足跡を残した画家・版画家であるデューラー、クラナハらを中心にその作品をご紹介します。怒涛の宗教改革の時代を生き抜いた彼らの足跡をたどります。

佐川 美智子氏

早稲田大大学院博士課程単位取得満期退学。1985年、町田市立国際版画美術館に学芸員として勤務、2011年、同館副館長。2014年、退職。在職中『書物の森へ—西洋初期印刷本と版画』、『黙示録と幻想—終末の心象風景』、『ダンテ「神曲」の旅』、『空想の建築—ピラネージから野又穂へ』等の展覧会を企画。著書『世界版画史』(美術出版社、共著)、『版画 進化する技法と表現』(文遊社、監修&執筆)、ほか。



宗教改革と音楽

9月16日(土)
14:00～15:30

宗教改革が音楽に及ぼした最大の影響は、一般信徒がコーラルによって賛美に参加できるようになったことです。コーラルによって一般信徒と聖歌隊が共通の音楽を基盤として礼拝において賛美できるようになったのです。パツハにいたるルター派の教会音楽においてコーラルの果たした重要な影響を具体的にご紹介いたします。

藤原 一弘氏

獨協大学(ドイツ語学科)にて杉山好氏に、立教大学大学院(組織神学)で皆川達夫氏に(音楽学)師事。80年よりチェンバロ調律師として活躍。91年、A. Werckmeisterに関する論文で辻一賞受賞。91-98年、チュービンゲン大学音楽学研究所に留学。95-98年、ベツフィンゲンにて合唱指揮者。現在、Affetti mvsicali 指揮者、青山学院大学・北海道大学非常勤講師。



聖書の装丁の歴史

9月17日(日)
14:00～15:30

洋の東西を問わず、信仰と印刷は近い関係にあります。とりわけキリスト教は印刷メディアを上手に取りこんできた宗教といえるでしょう。複製された聖書や聖画は、宗教改革時代の16世紀ヨーロッパで急速に広まり、人びとの生活に欠かさないものになりました。その誕生と発展の様子をご紹介します。

中西 保仁氏

1995年、慶應義塾大学文学部卒業。印刷博物館学芸員。〈ヴァチカン教皇庁図書館展 書物の誕生 写本から印刷へ〉等の展覧会キュレーションにたずさる。講演「活字本『東方見聞録』の登場」、「ローマン体とヨーロッパ文化」など。著書『図説本の歴史』(河出書房新社、共著)、『本ができるまで』(岩波ジュニア新書、共著)。



●レクチャーは無料です。参加ご希望の方は、日本聖書協会 聖書図書館にお申込みください。
E-mail:lib@bible.or.jp FAX 03-3562-7227 電話 03-3567-1995



宗教改革500年記念出版 ルター訳ドイツ語聖書 ガラテヤ人への手紙

6月20日
発売予定

1522年「9月聖書」— 原文・邦訳と解説(徳善義和)—

訳者：徳善義和 A4判 24頁 針金中綴 宗教改革500年記念出版
ルター訳ドイツ語聖書1522年『9月聖書』ガラテヤ書序文、本文の原文掲載、
徳善義和氏による邦訳と解説付。

日本聖書協会

予価1,000円+税

